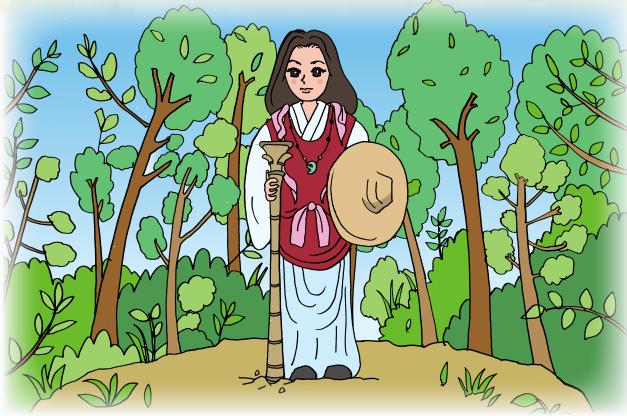


奈良に
古くから伝わる
むかしばなしを
ご紹介します。



御杖村の由来

文・山崎しげ子

今回は、『日本書紀』に見える、倭姫が巡幸された時の、今の宇陀郡御杖村に伝わるいくつかのお話。

*

昔、昔のこと。三輪山麓に宮があったとされる十二代垂仁天皇。その皇女の倭姫が、天皇の仰せを受け、天皇家の祖神である天照大神をお祀りするのにふさわしい場所を求め長い旅をされた。最後は伊勢の地にお決めに、これが伊勢神宮の起源とされる。

その旅の途中、倭姫が菅野川のほとりにある四社神社の境内の井戸で手を清められた。この時「ああ、すがすがしい野」と仰せになり、この地を「菅野」と名付けられた。

倭姫は、御杖村で一泊された。ここで古い杖を新しい杖に替えられたが、村人は「杖を置き忘れて出立された」と思い、杖は神様の杖ということに「御杖」「神末」と呼ぶようになった。これが「御杖村」「神末」の地名の

由来とされる。また別に、天照大神をお祀りする候補地のしるしとして杖を残されたという説もある。

その杖をお祀りしたという伝承を

もつ神末の御杖神社。実は、四社神社も、御杖神社も大阪、奈良と伊勢を結ぶ伊勢本街道近くにある。

姫はさらに旅をつづけられた。神末の東北にある、敷津の地には「月見石」が残り、近くの姫石明神では、姫が婦人病の全快を祈願したとされる。

*

御杖村でひとときわこんもりとした緑の森の中にある御杖神社。拜殿と、その奥の本殿。拜殿の前、天に向かつて聳える二本の杉のご神木は樹齢六〇〇年とか。

静寂の境内を一步出ると、二面、ゆつたりとした棚田が広がり、豊かに育った稲の葉波が風に揺れている。遠く、山々が重なったその向うに三峰山が淡く望める。まさに、日本の原風景を見る思いである。

御杖神社秋祭り

毎年11月の第1日曜には、五穀豊穡を祈願する秋祭りが行われる。太鼓をたたく子どもたちを乗せた御神輿(太鼓台)が地区内を練り歩く。境内練り込みは迫力満点。



敷津七不思議

村内の敷津地域には、倭姫が婦人病の全快を祈願したことから、婦人病や安産の神とされる姫石明神をはじめとした7つの不思議スポットがある。



物語の場所を訪れよう

「御杖神社」(御杖村大字神末)へは…
近鉄榛原駅から曾爾村役場行きバス「掛西口」乗換え、御杖ふれあいバス「神末中村」下車すぐ



問 御杖村観光協会 ☎0745-95-2070